

心からの感謝



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番
18号 (郵便番号162 0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話03 (3203) 9236(代表)

FAX03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記

振替口座をご利用下さい

新春道言

合気道道主 植芝 守央



あけましておめでとうございませう。

昨年は地震、大型台風の災害、また異常なまでの酷暑などの天変地異ばかりでなく、世界中が目まぐるしくうねりを持って動いていたように思います。そのような中においても、(公財)合気会は無事に1年を終えることが出来、こうして新年を迎えることが出来ます事に感謝しております。

昭和から平成の元号となつたまさに当日、肅々と奉納演武と免状授与式が執り行われたひっそりとした鏡開き式が昨日のようによみがえってまいります。

今年は今上陛下が4月30日をもってご退位なさり上皇となられます。この日を限りに平成の元号も終わりの新しい時代へと変わってゆきます。いつもの1年とは心持が異なっている感じがしますが毎年繰り返して行われる(公財)合気会の行事、海

外への派遣は淡々と実施してゆくことになんの変更もありません。滞りなく終えることが一番であると思っております。

今年、60歳以上を中心とするスポーツと文化の祭典である全国健康福祉祭「ねりんピック」が和歌山県で開催されます。合気道創始者である植芝盛平翁の生誕の地である田辺市では合気道、弓道、サッカーの交流大会が開催されます。

ねりんピックは昭和63年に始まって以来、毎年各都道府県持ち回りで開催されており、今年は31回目の大会となります。スポーツ・文化のふれあいを図るため、競技大会として行われるのではなく、交流大会として行われるとのことですので、「和合」の心を重んじております合気道にふさわしい祭典と言えましよう。また、こうして、60歳以上の豊富な人生経験をお持ちの方々を光を

道歌

大御神
七十五声を
生み出して
世の経綸を
さづけ給へり

感謝の心を持ち、謙虚に、素直な心で、明るく前向きに、情熱を持って突き進んでいきたいと思っております。亥年ではありますが、猪突猛進ではなくゆとりとした心でしっかりと歩んでまいりたいと思っております。

第57回 全自衛隊 演武大会に150名

平成30年12月1日、第57回全自衛隊合気道演武大会が、防衛省市ヶ谷駐屯地厚生棟体育館で合気道道主植芝守央先生のご臨席の下、防衛省合気道連合会所属の自衛隊駐屯地・基地等から自衛官・事務官らが一堂に集し、盛大に行われた。

午前中は太極拳人本部道場指導部師範による恒例の講習会が行われた。今年も日本全国から200名近くの参加者(友好団体からの参加者を含む)が集まり、例年にも増して、大澤勇人先生から真剣な中にも温かい指導をいただき、一同心地よい汗を流しながら、稽古を通して隊員間で交流を行った。

午後1時からの開会式では、西正典大会会長(防衛省合気道連合会会長)が今年も日本全国の連合会の支部から多数の参加者が得られたことは、大きな喜びである。旨述べ、今年も演武大会が開催できる喜びを参加者一同と共有した。

続いて道主より、「57年にもわたる先達からの命脈を綿々とつなぎ、全国の自衛隊で日々稽古されている人々がこの市ヶ谷に集まり、この素晴らしい演武大会が開催されることをうれしく思う。日々の稽古の成果を発揮し、満足できる演武をしていただきたい」旨のお言葉があった。

午後から行われた演武大会では、130名近くの演武者と150名を上回る観覧者の下、まず初めに、西会長による演武から進行した。演武では現役自衛隊員による各支部の演武の他、自衛隊OBによる演

越年稽古に200人



稽古始め

恒例の本部道場越年稽古は、大晦日の23時半から元旦の午前零時半まで行われ、本部並びに地域道場の会員ら200名が参加した。

主は、開祖資料室神前と本部道場3階道場で、行く年と来る年の祈りを奏上した。

稽古は植芝道主の指導で行われ、参加者は隙間のなか、黙々と稽古をした。



道主による総合演武

武が披露された。各支部はそれぞれの特徴を生かし、工夫をしている様子がうかがわれた。OB等の演武は、見ている者を魅了する巧みな技が披露され、見学者はその様子に見入っていた。

プログラムの最後は道主による「総合説明演武」が行われた。特に、普段地方で稽古している部隊の隊員からは、通常では考えられないような近い場所から道主の演武を見られることに感動したという声が各所から聞かれた。見学者一同からも、道主の流れるような躍動感あふれる華麗な動きに驚きの声があがった。

最後に、1年間を通して顕著な活躍を行った支部を表彰する優秀支部表彰、長年の功労者に対する功労者表彰を実施し、熱気の中、第57回大会は閉会した。(防衛省合気道連合会事務局幹事長・市ヶ谷本部支部長代理 中村 晋太郎)

100名の参加者は、晴れやかに稽古を行った。

初春稽古始め

平成31年の本部道場稽古はじめは、7日午前6時半より、本部道場3階道場で、植芝守央道主の指導で行われた。

道主の「新年明けましておめでとございませう」との挨拶で始められ、本部道場指導部をはじめとした約

年月日	行事
1月6日(日)	稽古始め(本部)
1月12日(土)	日本合気道連盟役員会(本部)、全国道場・団体連絡会議(本部)、新年賀詞交換会(京王プラザ)
1月13日(日)	鏡開き式(本部)
1月21日(日)	寒稽古(本部)
1月26日(土)	指導者講習会(港区スポーツセンター)
1月29日(日)	中学校武道授業法研究事業(日本武道館)
2月3日(火)	(公財)合気会理事会
2月4日(水)	合気道学校前期開講式「初級・上級・中級」(本部)
2月26日(金)	開祖御命日、開祖・吉祥丸二代道主を偲ぶ会(本部)
4月29日(月)	合気神社大祭(笠間市・合気神社)
5月14日(土)	(公財)合気会理事会・評議員会(本部)
5月14日(土)	第57回全日本合気道演武大会(日本武道館)
5月14日(土)	第41回全日本少年少女合気道錬成大会(日本武道館)
5月22日(日)	第31回全日本合気道演武大会(本部)
7月8日(月)	第18回全日本高等学校合気道演武大会(東京武道館)
8月中旬	学校武道実技指導者講習会
8月15日(日)	茨城支部道場講習会
10月1日(火)	合気道学校後期開講式「初級・上級・中級」(本部)
11月1日(金)	第7回全国合気道指導者研修会(日本武道館研修センター)
11月30日(土)	第59回全国学生合気道演武大会(愛知県武道館)
12月25日(火)	稽古納め(本部)
12月31日(火)	越年稽古

入身転換

合気道の益々の発展を願う年明けだ。海外では今や140ヶ国以上に広まっている。本部道場でも多数の外国人が日常の稽古に汗を流している昨今である。

日本を訪れる外国人観光客が昨年はついに3000万人を超えた。従来の中国、韓国、台湾、香港に加え、タイなど東南アジア諸国からの観光客が大幅に増えたことが大きい。米国や豪州、ヨーロッパからの旅行者も着実に増加している。

2003年に小泉内閣が観光立国を目指して始めたビジット・ジャパン・キャンペーンの成果であろうか。10年後の2013年にやっと当初の倍の1000万人に達したが、その後の伸びが著しい。スマホなどの普及で友が友を呼ぶ役割も見逃せないが、わずか5年で3倍増である。今後の目標は2020年に4000万人であるが、オリンピックの開催もありこれも実現出来るのではなからうか。

ところで、観光地でも多くの外国人を見かけるのは当然であるが、最近では都心でも郊外でも大勢の働く外国人を目にすることが珍しくなくなった。

先月、「新たな外国人材受け入れのための在留資格」の創設や入国管理局に替わって「出入国在留管理庁」の設置などに関連する法案が成立した。新たな人材受け入れの対象は人手不足に直面している介護業、建設業、農業、漁業など14業種が想定されている。

人手不足の現場では外国人の手助けなしでは産業そのものが崩壊してしまいう現状だ。少子化問題が解決されないままに日本は多国籍社会に突入することになった。言葉の問題も含め外国人が速やかに日本で共生出来るよう万全を期してもらいたい。(可児 晋)

新春によせて

公益財団法人
常務理事 林

典夫

で60年、50年
を修り超えて
歴史と実績を謹んで新春のご挨拶を
申し上げます。

合気道に親しむ老壮青
少諸氏、道友、そして合
気道の斯道を普(あまね)
く、ご支援、ご後援頂い
ている各界の皆様さまに
おかれましては、清々し
いお気持ちで新しい年を
お迎えのことと拝察申し
上げます。

また、大晦日23時半か
ら元旦零時半まで合気道
本部道場で越年稽古に心
地よい汗を流しながら新
年の挨拶を交わされた
方々が今年も沢山おられ
たことと思います。

振り返って、昨年(も公
財)合気会は無事に1年
を終えることができました。
お陰さまで最近の統
計によれば、世界の14
0を超える国と地域に合
気道が普及し、更なる力
強い勢いをも予感させる
ものがあります。国内外

茨城支部道場で「囲む会」

平成30年12月2日午前11
時より、同年最後の合気神
社月次祭が執り行われた。
植芝守央道主は合気神社
にて祝詞を奏上され、約1
30名が共に参拝し、その
後記念写真の撮影を行っ
た。



参加者へ挨拶する道主

続いて、道主は「現在140の国と地域にて合気道が広まっており、海外からの稽古者と共に、日頃の稽古に

続いて正午より、例年の「道主を囲む会」が茨城支部道場で開催された。
まず主催者の飯島悦男茨城県合気道連盟理事長が挨拶を行った。続いて常井洋治県議員、来賓の松田輝雄教育委員会スポーツ振興課長、磯山博茨城支部道場相談役など多くの方が祝辞、挨拶を行った。

関西学連

16校が演武大会

昨年11月24日、第54回関西学連合気道演武大会が、西学生合気道連盟武大会が、藤巻宏本部道場指導部師範を招いて開催された。場所は滋賀県大津市の滋賀県立武道館で、午後12時30分から開会式が行われた。大会顧問として、木村二郎大阪府合気道連盟理事長、吉本邦夫滋賀県合気道連盟理事長、上村和康大阪府合気道連盟副会長、清水正男滋賀県合気道連盟副理事長、梶本敏弘大阪府合気道連盟参加が来場された。主催者の関西学連合気道連

はなく、開祖以来の道統のみを唯一絶対の道統とし、国際的な合気道の普及としたい」との言葉を今あらためて心に刻みだした。
一方昨年、守央現道主が『合気道 稽古とこころ』を上梓されました。平易な表現で綴られ、これから合気道を始める方々にも一読をお薦めしたい1冊。

盟坂森志保委員長は、演武大会に参加した人々に感謝の意を述べた。その後藤巻師範から、「他校の演武を見る良い機会です。今日は皆さんの元気な演武を楽しみにしています」と挨拶した。

演武では、関西学連合気道連盟加盟大学16校、94名の参加の他、賛助演武として北海道、関東、中部、中国の各学連が演武をした。演武大会の最後は藤巻師

日体大50周年記念式典



来賓祝辞を述べる道主

昨年12月8日、日本体育大学学友会合気道部創部50周年記念式典が道主をお招きして行なわれた。OB・OGをはじめ、関わりのある大学あわせて約100名が参加された。式典は南部

範による模範演武で、演武大会に参加した人々に感謝の意を述べた。その後藤巻師範から、「他校の演武を見る良い機会です。今日は皆さんの元気な演武を楽しみにしています」と挨拶した。

演武では、関西学連合気道連盟加盟大学16校、94名の参加の他、賛助演武として北海道、関東、中部、中国の各学連が演武をした。演武大会の最後は藤巻師

京都府連が講習会

第6回京都府合気道連盟講習会は、昨年11月25日に京都武道センター・補助競技場にて、本部道場より菅原繁指導部師範をお招きして、開催されました。

本大会は9月に同武道センター・内旧武徳殿にて開催される予定でしたが、台風の影響により一時、旧武徳殿が使用できなくなったため延期され、日程・施設を変更し開催されました。京都府下20団体(新規連盟加盟1団体含む)計12

0名の参加者が集まりました。菅原師範の講習会では、片手取り四方投げや正面打ち一教・入身投げといった基本技を中心に稽古が行われ、合気道の稽古における基本技の大切さを再確認させていただき、参加者皆が満足する充実した講習会になりました。

来年度もさらに講習会参加者、参加団体数を増やし、京都府下の合気道友の良き交流の場となる、充実した大会を京都府合気道連盟一

長岡合気会

演武&講習会

また担当指導者の日野皓正本部道場指導部指導員の挨拶、吉原誠錬心会会長代理の卒業生代表挨拶が行われた。最後は現役部員による演武が行われ、式典は終了した。

その後、大学内にある食堂に場所を移し、祝賀会が行われ50周年記念行事は無事に終了した。OB・OGである錬心会が昨年できたばかりではあるが、現役部員と卒業生が積極的に意見を交えて、連携を取り日体大合気道部一同で式典を盛り上げていた。現役部員を大事にしている風潮が良く、これからの歴史の節目として期待できそうだと感じた。(本部道場指導部指導員 桑原将太)

長岡市合気会は、昨年11月24日に森智洋本部道場指導部師範をお迎えして演武会、講習会を県合気道連盟の協力支援にて開催した。戊辰戦争の河井継之助、連合艦隊司令長官の山本五十六等の武人生誕地、長岡での合気道は故大村浩章師範(練成会)により誕生して50年。奇しくも長岡開府400年と重なり歴史の節目となった。

演武会に先立ち、講習会が行われた。森師範は基本動作の片手取り転換法を丁寧に指導くださった。またそれが他の技法にどのようにつながるか動きで示していただいた。

「維持会員」へのおさそい
日頃から格別のご理解と厚意を賜りありがとうございます。
(公財)合気会では合気道のより一層の普及発展をはかるため「公益財団法人合気会 定款」にもとづく「維持会員」へのお誘いを致しております。つきましては、賛同頂きご後援・ご援助を賜わることができましたら幸いです。
記
(1) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として
年額1口2万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
(2) 特別会員 この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として
年額1口10万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
お申し込みは(公財)合気会事務局まで



森師範(前列中央左)を囲んで

気さくな森師範の人柄に参加した当会会員や連盟各道場会員は緊張も解けて、2時間休憩無しで熱心に受講した。
午後からの演武会では、当会会員と県連盟の各道場代表とで多彩な技法が演舞され、日頃の鍛錬が示された。森師範の素晴らしい模範演武で最後をまとめて頂いた。

その後、会場を移して来賓も交えての祝賀会が催された。
丸となつて開催したいと思ひます。(都府合気道連盟大会実行委員長 入江康仁)
岐阜一元会が特別講習
岐阜一元会特別講習会は昨年11月25日、佐々木貞樹本部道場指導部師範を迎えて大垣市武道館で行われ、主催の岐阜一元会と近隣地区の9団体から合わせて104名が参加した。



100名超の参加者

見せながら熱気に満ちた稽古を繰り広げ、約500量敷きのアリーナが活気に満ち溢れていた。
稽古後に場所を移して行われた懇親会にも多数の参加者が集まり、皆終始和やかな雰囲気での交流がなされた。
▽関昭三指導部師範は、2月6日から12日までフランスの講習会に派遣される。
▽藤巻宏指導部師範、里留潤指導部員は1月24日から31日までタンザニアの巡回指導に派遣される。
▽金沢威指導部師範は、1月30日から2月5日までロシアの講習会に派遣される。
▽伊藤眞指導部師範は、1月31日から2月4日までインドの講習会に派遣される。

謹賀新年

全日本合気道連盟

理事長 尾崎 响
常任理事 林 典夫

同 宮本 鶴蔵
同 小林 幸光
他一同

国際合気道連盟

理事長 井沢 敬
事務総長 ウィルコフリースマン
財務総長 貞國 鎮

東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎
役員一同

北海道合気道連盟

会長 藤井 幸一
理事長 南雲 州治
(他会員一同)

オホーツク中湧別道場

道場長 尾崎 响 指導部長 松田茂満
道場長行 尾崎かほる 事務局長 本田淑子
北海道紋別郡湧別町中湧別北町二三
電話・FAX 〇一九六六―二四二八

東北合気道連盟

会長 日高 浩(岩手県)
理事長 船越光雄(山形県)
副会長 白川勝敏(宮城県)
同 横山清一(秋田県)
同 田辺孝美(青森県)
同 清野和浩(福島県)

青森県合気道連盟

会長 田辺 孝美
理事長 米谷 恵司
事務局長 高坂 修一

宮城県合気道連盟

会長 白川 勝敏
理事長 渡邊 新
(事務局) 仙台市泉区大沢二一六―九
senshin@s3.dion.ne.jp

茨城県合気道連盟

会長 常井 洋治
理事長 飯島悦男 常任理事 桑原 隆
常任理事 稲垣繁實 同 五十嵐雅高
同 渡引好文 同 海老原弘一
理事・監事一同

水戸合気会

水戸市合気道スポーツ少年団
会長・団長 飯島 悦男
会員・団員一同

群馬県合気道連盟

荒井 俊幸

群馬合気会

荒井 俊幸

長野県合気道連盟

会長 萩原 清

合気道修練道場自然館

館長 吾妻 正義

入間市合気道連盟

会長 関戸 章弘
入間幸武館道場
館長 中島 正吉

合気道明心会

会員一同

蓮田合気会

合気道大宮道場

会員一同

大宮合気道倶楽部

会員一同

浦和合気会

会長 林 昭男

A & P合気道石垣道場

道場長 石垣 晴夫
さいたま市浦和区常盤九一八―一五 松本ビル三階
電話・FAX 〇四八八―二一〇六 五〇
(自宅) 〇三三〇―〇〇七三
さいたま市浦和区元町三―三三 一一二四号
電話 〇八〇六―七二一九

草加合気道研究会

会長 中道 一也
副会長 宮澤 義治
http://soukaiken.webnode.jp/

新所沢合気道同好会

会長 山上 三一
師範 針 すなお
埼玉県所沢市緑町一―六一 七五〇二
電話 〇四一二―四一〇八 八八一

志木市合気道連盟
志木合気会

代表 三輪 明
ホームページ <http://shiki-aiikai.net/>
会員一同

千葉県合気道連盟

会長 高橋 嗣慶
理事長 吉川 滋

合気道花見川道場

道場長 等々力 敏夫
千葉県花見川区花見川六一―〇一―〇一
電話 〇四三二―五八八五 七二二三

野田合気会

会長 山中 紀光
会員一同

柏合気会

会員一同

江戸川区合気道連盟

理事長 藤城 清次郎
理事・会員一同
事務局 千三三〇―〇五六
東京都江戸川区南小岩一―二二―六
電話 〇三三六―七二二四 六六
FAX 〇三三六―七二二四 六六

城南合気会

会長 塩崎 省三

新小岩合気会

合気道土井道場
葛飾合気会

合気道進藤道場

道場主 進藤 芳子
千三三八―〇七四 江東区東砂二丁目三番二号

合気道鋏守道場

道場長 鋏守 和徳
指導部長 松丸 裕

中野区合気道連盟
中野区合気道会

会長 松本 肇

祖師谷合気会

会長 中村 文子
東京都世田谷区砧六一―二六―一十
電話 〇三三四―一五二四 〇二

新宿合気会

会長 周参見 紳次郎
会員一同

荒川合気会

会長 酒井 光雄

大田区合気道会

会長 尾崎 响
千一四三―〇二四
東京都大田区中央五一―一八一
電話 〇三三七―五五一一 二五八

中央区合気会

会長 糸田 寛人

神奈川県合気道連盟

会長 松田良昭

理事長 武田義信

〒244-0805
横浜市戸塚区川上町四八六一七

合気道研究会
インターナショナル

会長 松田良昭

代表 武田義信

〒244-0805
横浜市戸塚区川上町四八六一七

合気道青葉塾道場

本田靖生

土曜稽古会 木曜稽古会 日曜特別稽古会

〒225-0021 横浜市青葉区すず野三二二一
藤ハクセル 隣 青葉教育企画センター
電話 〇四五・九〇二・一八〇八

合気道青葉塾道場 検索

静岡県合気道連盟

理事長 石原克博

他 役員一同

〒426-0945
静岡県富士市宮島六四〇一
電話 〇五四五・六一〇・四七九

愛知県合気道連盟

会長 澤田俊晴

役員・加盟団体一同

尾張合気会

会長 滝本清三

大手前学院合気道教室

道場長 岩崎一基

〒455-0044
名古屋市中区榮三町三一六
電話 〇五二・六三三・〇七四五

三重県合気道連盟

会長 杉田憲司

会員一同

津市合気道連盟

会長 杉田憲司

合気道四日市合気会

会長 畝原正典

会員一同

富山合気会

代表 島恵司

道場 県営富山武道館
黒部市錬成館

福井県合気道連盟 福井円融会

会長 松原道一

彈場 瀧八木貞樹

〒910-0033
福井市松本二丁目三十五
電話 〇七七六・二七一一・二四〇
(H) akdoun-rip

岐阜県合気道連盟

理事長 汲田清造

会員一同

滋賀県合気道連盟

理事長 吉本邦夫

副理事長 平野誠夫

同 清水正男

合気道滋賀

本部長 小川良紘

五藝会長 平井忠雄

事務局 〒520-2332
滋賀県野洲市小瀬原六四六
電話 〇七七・五八八・三四六五

京都合気会

代表 小山照雄

奈良県合気道連盟

会長 窪田育弘

理事長 藪内啓壽

大阪府合気道連盟

加盟団体一同

役員一同

公益財団法人
大阪合気会

代表理事 柳澤健二

合気道大阪武育会

木村二郎

上村和康

合気会
合気道大阪道友会

会長 芋野光弘

恒心道場

大坂恒

合気道洗心館

館長 平田幸一

道場 大阪市北区南森町一三十三
藤藤ビルB1
電話 〇七四五・七三三・七三二

和歌山県合気道連盟

会長 九鬼家隆 副会長 竹中日出雄

理事長 五味田聖二 副理事長 冷水照夫

事務局 松本一夫 道場長一同

〒641-0021
和歌山市三葛三六四番地
電話・FAX 〇七三・四四六・〇四四五

合気道紀南田辺塾道場

平野成秋先生門下生

正木利城 正木肇

海野寛 司

神戸せいぶ館

道場長 浜崎正司

館長 中尾眞吾

相生會

堀井悦二

岡山県合気道連盟
合気道正武会

主席師範 壬生川堯一

門下生一同

鳥取県合気道連盟

会長 朝倉一

外 会員一同

山口県合気道連盟

会長 中村克也

副会長 岡田元昭

愛媛県合気道連盟

会長 橋田一美

理事長 松田正司

合気道合心館

館長 谷本敏夫

〒791-1803
松山市美沢二一・一一二二
電話・FAX 〇八九・九三三・四三三三
http://aikidoaishinkan.jimdo.com/

合気道敷島塾

会長 工藤泰助

他 傘下場一同

〒773-0015
徳島県小松島市中田町池ノ内二千三三
電話 〇八八五・一三三・二二八〇

高松合気会

会長 西原浩

会員一同

〒760-0013
香川県高松市扇町一・二三・三三八
電話・FAX 〇八七・八二二・一八七〇四

高知県合気道連盟

会長 岩目建紀

理事長 松村俊典

会員一同

高知県合気会

理事長・会長 岩目建紀

他 会員一同

熊本合気会

水前寺道場 高本和宜

合志道場 多田広明

天之武産合気至聖館
熊本道場

会員一同

鹿児島県合気道連盟

理事長 山口和文

副理事長 戸井正孝

同 長 洋孝一

〒894-0064
鹿児島市鵜池新町二五・一五・一五〇九
電話 〇九九・二二三・〇五六一

日新
合気道祥平塾道場

菅沼守人

〒821-0893
福岡市博多区那珂五・二・三三二

合気道熊野塾

道場長 須川勉

和歌山県新宮市元鍛冶町一・五一一

北海道学生合気道連盟

東北学生合気道連盟

関東学生合気道連盟

中部学生合気道連盟

中・四国学生合気道連盟

公益財団法人 合気会 茨城支部道場

道場長 植芝充央

相談役 磯山博 指導部 磯山俊博

顧問 藤枝一弘 同 永島義道

総務部長 稲垣繁實 同 平澤憲次

指導部 渡引好文 同 秋本英裕

同 大和田幸正 同 川上俊明

ワイン農地を散策



南仏とモナコで講習会

私(栗林)は昨年11月22日から28日まで、南フランスとモナコでの講習会の為、南仏プロヴァンス地方のマルチーク市、コートダジュール地方のムジャン市、そしてモナコ公国を訪問した。

講習会は23日のマルチーク(代表 Damien Vernezze)を皮切りに行われた。普段は、プロヴァンス地方のマルセイユ、エクサン・プロヴァンス、そしてモンペリエ等からも人が集まるのだが、今回はフランス気象台が自

宅から出ないように注意喚起する程の雷雨に見舞われ、それでも稽古熱心な仲間30名程集まった。1年振りの再会であったが、皆大変快く迎え入れてくれたのが有り難く、先のような事情にも関わらず、故田村信喜師範の留美子夫人もお越し下さった。

24日には地中海沿いを車で東に移動して、モナコで講習会を行った。モナコは若い会長 David Barral氏を中心として活発に活動が続け、最近では近隣に関連道場も増え、小

さな国ながら、今後に期待が持たれる。講習会はお馴染みのモナコが誇るサッカ―場内にある道場で行われ、モナコの面々はもとより、隣接するニースやマントン、更には国境を接するイタリアからも参加者が有った。

最後の講習はピカソ終焉の地として知られる町ミジャンである。こちらも代表の Denis Drogny氏を中心に傘下の3道場が良くまとまった家族的な雰囲気気の団体であり、会員同士も大変友好的な雰囲気であった。丁度、祝日と重なり、

日緬65周年

ミャンマー合気道協会主催の合気道渡緬65周年記念講習会と演武会がヤンゴンで行われた。昨年11月23、24日の両日、23年間続く、合気会茨城支部道場・稲垣繁實師範の指導が8回行われた。丁度、祝日と重なり、

大勢の子供達を交え毎回60名余りが基本の体捌きを熱心に学んでいた。25日午前には昇段審査が行われ、初段8名、二段4名全員が合格した。午後の記念演武会は道主からの祝辞が披露されて開始。ヤンゴンの各道場・道場長・幹部、マレーシアや日本からの参加者が



60名以上の少年部会員が集った

D.Copello, S.Mariani, F.Colle, M.Caldera, L.Zoppi, G.Gennard, M.Ricella, A.Ros, C.D'Isanto, F.Cesaro, F.Cona, G.Canalella, M.Gengaroli, G.Soccodato, G.Guido, B.Falabella, P.Lampo, G.Savastano, A.Ferraro, G.Liporace, F.Caprio, A.Alloggio, C.Bernardi, G.Torre, V.Schiuma, E.Carulli, P.L'Erede, L.Bigoni, C.Tumolo, A.Reale, B.Franceschi, E.Lombardo, C.Nicita, S.Marescotti, D.Fantini, P.Tamburini, P.Andreula, L.Dinoi, V.Scaioli, P.Renzi, M.Oberto, C.Amori, E.Spagnolo, B.Spezacatena ◆ SLOVAK = T. Marek, T. Wittichova, M.Vrba, M.Jakubcova, M.Honzik, H.Havřila ◆ POLAND = F.Neunert, J.Brodzinska, F.Baranski, E.Bek, P.Nowak, J.Rzeznik, A.Balasz, K.Hannibal, D.Rolla, M.Miazga, P.Posnik, D.Hamerlinski, Z.

Gawron, M.Klata, J.Klata, J.Grotowski, D.Kosinska, M.Kozioł, D.Borowiecki, J.Kolodziejczyk, M.Madziel, D.Paczkowski, T.Szymanek, A.Kolasa, D.Korzeniowska, J.Chabiera ◆ BULGARIA = V.Stoyanov, G.Petev, V.Gitsoika, P.Bobadov, N.Ivanova, T.Morrow, V.Friesema, M.Robert, M.Robert Jr., B.Rabodzeenko, W.Bates ◆ CAMBODIA = C.Try, 坂田優子, R.Ferry ◆ ARGENTINA = G.Prado, S.Ferreira, P.Curras, T.Marlow, M.Bragazzi, C.Gutierrez, M.Martinez, E.Quinteros, D.Tripodi, M.Diez, A.Girela, F.Ortega, S.Mesa, J.Albala, M.Latigan, G.Carella, G.Diaz, J.Corallini, J.Coelho, S.Felice, J.Salvo, J.Amorin, J.Delgado, R.Rubio ◆ FRANCE = R.Brousset, P.Defroyenne, O.Degroote, B.Peidro, H.Cardot, M.Hung, S.

Duong, F.Pinturier, N.Guillou, P.Lablonde, E.Goffinet, C.Robineau, F.Chatel, D.Descombes, F.Serve, H.Qarchi, A.Almarzooqi, N.Qahtani, E.Alliti, R.Lavergne ◆ SPAIN = R.Rodriguez, R.Lopez, J.Tapia, J.Salis, J.Villasanta, O.Jose, M.Garcia, M.Vicente, M.Fernandez, A.Morillas, L.Perez, J.Liebana ◆ FINLAND = C.Drocan, J.Holopainen, J.Jussila, A.Kulta, I.Nikula, A.Vesala ◆ SRILANKA = S.Raman ◆ U.K. = C.Brennan, S.Mooney, D.Easton, D.Jones, S.Mcdonald, M.Mccorry, K.Marshall, C.Baillie, L.Butler ◆ LIECHTENSTEIN = E.Jost ◆ LITHUANIA = D.Skaliyov, G.Poskus ◆ TATARSTAN = A.Bagayev, N.Veinov, N.Gubajdullin, A.Nurjahmetov ◆ CANADA = K.Stewart, T.Mahoney, J.Ruminski, S.Bougon, R.Zelven-

sch, P.Lin, D.Ivanov, 金肖, E.Guenette, C.Wilson ◆ SERBIA = M.Pavlovic, A.Vujanovic, M.Lukic, S.Vasiljevic, I.Vujanovic, S.Stetin, N.Petrovic, B.Krstevski ◆ ARMENIA = A.Petrosyan, A.Hayrapetyan, D.Grigoryan, A.Grigoryan, A.Grigoryan, A.Shahgeldyan ◆ SWEDEN = S.Valentini, F.Westerlund ◆ SWITZERLAND = R.Albrecher ◆ BELGIUM = P.Haex, E.Verheyden ◆ GERMANY = D.Bodensohn, M.Borek, C.Eikemeier, S.Koesling, A.Belzhause ◆ BRAZIL = R.Machado, N.Dias, M.Alves, J.Abreu, E.Tokura, R.Neves, C.Fernandes ◆ U.A.E. = R.Sabutan ◆ LATVIA = E.Monostory, A.Dresmanis ◆ GREECE = I.Solounias ◆ UKRAINE = M.Mateleshko, O.Dovzhenko ◆ NEWZEALAND = C.Snelling ◆ 中国 = 熊振華, 郝琨, 栗原幸大

東南アジア巡回指導

カンボジア

鈴木俊雄本部道場指導部師範と私(鈴木昂平)は、東南アジア巡回指導の一環としてカンボジア(シエムリアップ、プノンペン)に11月26日から12月3日まで派遣された。

プノンペンにはJICAからシニアホランティア(以下SV)として有田一比呂氏が派遣されており、



プノンペンでの稽古の様子

またSVOBの金子信一氏も協力に駆けつけて下さった。またシエムリアップにはSVOBの森修一氏が滞在されている。3名の方々は今回の巡回指導において多大なる協力をいただいた。

11月26日から30日までシエムリアップに滞在し、SGIS(St. Georges)にて鈴木師範による1時間半の講習が計5回行われた。

また、French Schoolにて私による少年部の稽古が1回行われた。29日に審査が行われ、初段2名が合格した。

30日にシエムリアップからプノンペンに移動した。プノンペンでは市内のオリピックスタジアム道場にて鈴木師範による1時間半の講習が3回、私によるシアヌークビルからの少年部の稽古が1回行われた。2日には審査が行われ、初段1名が合格した。

私(入江)は昨年10月25日から30日までスイス合気会ラングエンタール道場長フリッツ・ホイッシャー師範の招聘でスイス連邦のラングエンタールとアッペンツェルを訪問した。

26日夜、池田昌富師範が開設したチューリヒの池田道場を訪問して指導稽古を行った。28年前の学生時代にスイス合気会夏季講習会に参加して池田師範には大変お世話になったので、その師範の道場で稽古できることはとても光栄であった。

翌27日、アッペンツェルにて同地での合気道50周年の記念講習会が開催された。

入江師範(前列中央)を囲んで。中蘭睦晴師範によって合気道が紹介された。講習はホイッシャー師範、アッペンツェル道場長のレネ・イセリング氏、小生が2回ずつ担当した。夜は記念パーティが行われた。

28日、ラングエンタール道場にて講習会が行われ、ホイッシャー師範と小生が2回ずつ指導を担当した。2日間とも6時間にわたる稽古時間でも充実したひと時だった。以前本部道場で稽古を共にしたエンニオ氏、スラ氏、ラヘル氏との再会は懐かし、デニス氏が家族とイルクーツから訪れたのにはとても驚いた。しっかりと稽古したことはもちろんであるが、彼らの参加も充実の要因の一つであろう。

入江師範(本部道場指導部師範 入江喜信)

スイス講習会



入江師範(前列中央)を囲んで

入江師範(前列中央)を囲んで。中蘭睦晴師範によって合気道が紹介された。講習はホイッシャー師範、アッペンツェル道場長のレネ・イセリング氏、小生が2回ずつ担当した。夜は記念パーティが行われた。

約半数が初心者だが、昨年よりも有段者の人数が増えたので講習は基本技とその応用を織り交ぜた。インドでは空手出身の方が多いが実に謙虚に合気道を基礎から学ぼうとする姿勢に感銘を受けた。8日、午前午後2時間、9日、午前1時間半の講習後、休憩を挟み正午より昇段昇級審査を行った。

約半数が初心者だが、昨年よりも有段者の人数が増えたので講習は基本技とその応用を織り交ぜた。インドでは空手出身の方が多いが実に謙虚に合気道を基礎から学ぼうとする姿勢に感銘を受けた。8日、午前午後2時間、9日、午前1時間半の講習後、休憩を挟み正午より昇段昇級審査を行った。

約半数が初心者だが、昨年よりも有段者の人数が増えたので講習は基本技とその応用を織り交ぜた。インドでは空手出身の方が多いが実に謙虚に合気道を基礎から学ぼうとする姿勢に感銘を受けた。8日、午前午後2時間、9日、午前1時間半の講習後、休憩を挟み正午より昇段昇級審査を行った。

約半数が初心者だが、昨年よりも有段者の人数が増えたので講習は基本技とその応用を織り交ぜた。インドでは空手出身の方が多いが実に謙虚に合気道を基礎から学ぼうとする姿勢に感銘を受けた。8日、午前午後2時間、9日、午前1時間半の講習後、休憩を挟み正午より昇段昇級審査を行った。

約半数が初心者だが、昨年よりも有段者の人数が増えたので講習は基本技とその応用を織り交ぜた。インドでは空手出身の方が多いが実に謙虚に合気道を基礎から学ぼうとする姿勢に感銘を受けた。8日、午前午後2時間、9日、午前1時間半の講習後、休憩を挟み正午より昇段昇級審査を行った。

た。中蘭睦晴師範によって合気道が紹介された。講習はホイッシャー師範、アッペンツェル道場長のレネ・イセリング氏、小生が2回ずつ担当した。夜は記念パーティが行われた。

印ネデリー講習会

私(藤巻)は、昨年12月6日から11日までニューデリー合気道道場(カー・パリトス代表)の講習会と審査のため、インドのニューデリーを訪れた。

金曜日の夜から市内のテアクラススタジオで始まった講習会には、ムンバイからも参加があり、48名が集まった。

約半数が初心者だが、昨年よりも有段者の人数が増えたので講習は基本技とその応用を織り交ぜた。インドでは空手出身の方が多いが実に謙虚に合気道を基礎から学ぼうとする姿勢に感銘を受けた。8日、午前午後2時間、9日、午前1時間半の講習後、休憩を挟み正午より昇段昇級審査を行った。

約半数が初心者だが、昨年よりも有段者の人数が増えたので講習は基本技とその応用を織り交ぜた。インドでは空手出身の方が多いが実に謙虚に合気道を基礎から学ぼうとする姿勢に感銘を受けた。8日、午前午後2時間、9日、午前1時間半の講習後、休憩を挟み正午より昇段昇級審査を行った。

約半数が初心者だが、昨年よりも有段者の人数が増えたので講習は基本技とその応用を織り交ぜた。インドでは空手出身の方が多いが実に謙虚に合気道を基礎から学ぼうとする姿勢に感銘を受けた。8日、午前午後2時間、9日、午前1時間半の講習後、休憩を挟み正午より昇段昇級審査を行った。

ドバイ講習会

私(伊藤)は昨年11月21日から26日まで、アラブ首長国連邦のドバイに派遣され講習会指導を行った。木曜夜、金曜、土曜と講習を行い、ドバイ合気会の会員、サウジアラビア、クウェート、オマーンからも参加者があり、50名ほどが汗を流した。金曜の講習会後に審査を行い、初段、二段各1名が合格した。

参加者のうち、アラブ首長国連邦国籍を持つのは僅か2人で、インド、フィリピン、オーストラリア、レバノン、シリアなど、多様な国籍・人種・背景を持った人達が稽古に参加している。

講習会は30日の夕方から行われ3日間の子供の稽古を含む計6回の稽古が行われた。参加者の約半数が白帯で年齢、合気道歴も若い人が多かったが、参加者の熱心さのお陰で私自身良い稽古を行う事ができた。本部道場指導部員 小山雄二

励んでいることも感慨深い。(本部道場指導部師範 伊藤眞)

フィンランド講習会

私(小山)は昨年11月30日から12月3日まで、フィンランドでの講習の為、首都ヘルシンキから車で約2時間の距離にあるタンペレを訪問した。

フィンランド合気会の有志団体19道場により開催され、講習会には他国からの参加も含め86名が参加した。

会場はナースハッリという分厚い扉が入口の防空壕で、中には柔道場、トレーニング室、ボクシング、卓球など武道、スポーツを幅広く行える施設にもなっている。

各道場の昇段者

30年11月15日～
30年12月9日
(公財)合気会登録

【四段】

◆本部道場＝J.Santoyo、M.Bertoni◆長谷川道場＝宮本憲一◆つくば合気道会＝田村修一◆合気道須賀川道場＝馬淵雅士◆合気求和会前沢道場＝佐藤みゆき◆横浜南合気会日曜＝飯野剛士◆円水会＝窪田博之、窪田美加◆合気道岐阜一元会＝河合由利子◆鹿児島合気道錬成館＝盛喜健◆三重合気道研究会＝神保有亮◆ぐみ沢合気会＝鎌倉千尋◆輝隅塾＝今入大介◆横浜国際合気道会＝門屋隆士◆沖縄合気会＝J.Castellon、山口大、長堂照男◆長崎氣和会＝山口賢人◆合気道神武錬成塾＝佐川晴美、氏家雅也◆江戸川合気会＝阿部圭太◆合気道宇宙の会＝泉川祥一◆合気道修練道場自然館＝日向裕司◆央名会春日井武道館＝小笠原茂◆小林道場＝宇佐由美子、加藤秀和、高倉健、ロソン・ジョニー、安斎達彦◆合気道千葉千種道場＝中島尚信◆昭島合気道会＝谷口貴俊◆祥平塾＝北忠行、井上尚宏◆船橋合気会＝B.Magrath、長濱修司◆合気道天正会＝岸野忠司◆天心道場＝森伸一◆取手合気会＝羽川幸一◆麻生同心会＝鈴木英豊◆藤浪塾＝山田明史◆美陵会＝中村和鼓、川西加菜美◆合気道修徳会＝三浦浩彰◆西葛西合気会＝相原曆世◆U.S.A.＝B.Miller、S.Shaw、B.Riester、D.Cody、G.Murray、J.Gavin、O.Izquierdo、R.Sarris、B.Byrne、S.Montgomery、D.Lewin、C.Watkins、J.Nakamura◆CZECH＝R.Sipek、J.Bitarevec◆ITALY＝P.Zucco、M.Nataloni、V.Bertozzi、M.Tomasi、S.Limongelli、M.Musi、V.Zirollo、M.Gallo、S.Martuscelli、A.Ruggiero、G.Papa、A.Culin、P.Meloni、M.Tarantola、R.Mazzei、M.Canali、F.Siena、G.Bragaglio、G.Merlino、R.Majo、K.Lebert、L.Martin、A.Pellegrini、E.Siano、G.Pepe、W.Lorenzetti、R.Percaccio、L.D’Antuono、A.Samiky、B.Contiero、B.Manzo、N.Mercuri、C.Tonelli◆U.K.＝M.Olney、C.Shepherd、C.Wallace、R.Kane◆ARGENTINA＝M.Soffer、O.Ojea◆FRANCE＝P.Barbat、A.Ramaroson、K.Bechir、H.Cardot、M.Hung、S.Duong、F.Pinturier、N.Guillou、V.Kantzara◆SPAIN＝J.Roman◆LIECHTENSTEIN＝E.Hellman◆CANADA＝S.Jones、D.Manca◆NEWZEALAND＝D.Stewart、I.Wills◆RUSSIA＝A.Baranov、A.Maltsev◆SERBIA＝M.Burazerovic、M.Pasoski、K.Pasoski◆ARMENIA＝H.Hakobyan、A.Khojayan◆BULGARIA＝D.Angelov、M.Sgantzov

【参段】

◆西馬込合気道会＝梅本勝◆三澤塾＝深沢昌格◆曙合気道クラブ＝尾口寿章◆雅会＝胡子靖展◆長崎氣和会＝倉地晶子、藤田健太郎◆合気道神武錬成塾＝鈴木由美◆合気道研修館＝五上智之、佐藤源子◆江戸川合気会＝前田直樹◆合気道宇宙の会＝溝口景史◆国分寺合気会＝和田道幸、西谷敏昭◆合気道修練道場自然館＝大田綾音◆央名会春日井武道館＝河原佑介◆小林道場＝塩森淳、立花悟、松田敦子◆松戸市役所合気道部＝恩田勝彦、橋本勝美◆祥平塾＝小原昇、井上信久、中尾一隆◆合気道正和会＝F.Fuentes、F.Varquez、D.Ortiga◆石垣道場＝小島真希◆袖ヶ浦合気会＝福原直志、岩本幸治◆大宮合気道倶楽部＝大森雅夫◆大阪合気塾＝平山健太◆大泉合気道クラブ＝A.Munoz◆大塚道場明道館＝名原陽子◆天心道場＝園本顕◆取手合気会＝幸田恭典、坂東和彦◆品川円明会＝堀健太郎、江澤克己◆富山合気会＝大井勝利◆武産館＝坂口佳隆◆防衛省合気道連合会＝於久利穂◆麻生同心会＝名取浩介◆藤浪塾＝肥田正◆城山合気会＝清藤泰弘◆広島国際合気道道場＝佐々木啓太◆美陵会＝村瀬光則◆大森三中合気道会＝河西啓一◆長谷川道場＝後藤成美◆東湘合気道会＝小川長久◆つくば合気道会＝相澤達也、宮内尚之、小薬賢一◆倉吉合気会＝福永正輝◆土井道場＝富永仁史◆GEORGIA＝S.Darakhvelidze、I.Gunia◆RUSSIA＝I.Mazitov、M.Rodionov、A.Trushkin◆U.S.A.＝J.Futia、D.Cifuentes、D.Merrill、C.Porto、G.Temkin、K.Kirill、

T.Chusova、R.Podgorsek、J.Duke、C.Rodriguez、A.Pittman、R.Allen、S.Spiller、A.Milton、M.Menendez、C.Pino、M.Brodbeck、D.Roznowski、J.Watier、A.Kooser、D.Llewellyn、R.Lauer、M.Trantow、P.Franklin、I.Keane◆ITALY＝S.Zedda、R.Palastro、P.Petrosino、N.Guglielmo、M.Pastore、A.Sappino、T.Grego、F.Massaglia、A.Martino、R.Pandini、L.Panzeria、D.Dito、M.Pietro、D.Duso、G.Manto、S.Scalise、P.Micati、M.Toniatti、L.Celegato、D.Odoni、L.Zara、G.Pierri、A.Corbi、L.Sanchioni、A.Agawin、G.Prisco、R.Palazzi、I.Rossi、B.Massignan、S.Stassi、I.Sepe、D.Curcumi、A.Edjekouane、F.Calignano◆SLOVAK＝R.Brych◆POLAND＝R.Bonarski、M.Pietrasik◆BULGARIA＝T.Genov、I.Ivanov、S.Doshev、J.Mazzola、G.Junker◆ARGENTINA＝A.Parede、S.Sajarov、P.Rodriguez、A.Gimenez、M.Balino◆FRANCE＝P.Barbat、K.Bechir、H.Cardot、M.Hung、S.Duong、F.Pinturier、N.Guillou、P.Lablonde、H.Faraj、J.Beurgaud、C.Cauvy◆SPAIN＝F.Mateu、J.Molino、F.Palomares、A.Sagrado、S.Perez◆FINLAND＝J.Watka、M.Levy、V.Jantunen◆CANADA＝D.Evoy、K.Loughran、I.Sitarchouk、R.Whyte、C.Rogers、W.Wong◆U.K.＝M.Machin、W.Wallace、A.Branick◆SERBIAN＝B.Mrkonic◆URUGUAY＝V.Ugon◆ARMENIA＝D.Sahakyan◆SWITZERLAND＝S.Luscher、M.Golay◆BRAZIL＝T.Moreira◆AUSTRIA＝J.Lauber、M.Burghardt、M.Harre、K.Neubrand◆GREECE＝R.Prifti

【武段】

◆本部道場＝藤田昌也、T.Coughlan◆合気道潜龍会＝戸枝雄二◆館山若潮合気会＝高橋力◆曙合気道クラブ＝川上喜裕◆横浜南合気会火曜＝青野洋◆沖縄合気会＝岩崎雅之◆合気道神武錬成塾＝伊生正広、阿部優貴、萱場有紀◆群馬合気会＝久米博之、槻剛◆恒心道場＝山下直紀◆江戸川合気会＝酒井顕◆甲府合気会＝武藤隆一◆桜道場＝村田泰代、南雲美由紀、依田千鶴、栗野三枝◆志木合気会＝古株博之◆合気道修練道場自然館＝高田裕二◆小林道場＝稲葉弓、早川潤、中村正行、西孝、本田真智子、伊藤樹◆昭島合気道会＝高橋ゆきみ◆松戸市役所合気道部＝鈴木直子◆祥平塾＝田淵富三、内倉克子◆吹上道場＝坂井勇太◆石垣道場＝栗林将之◆千葉合気道館＝高山和良◆三菱合気道部＝関崎健二、弓場絵之◆草加竹内合気道会＝井之川勝三◆大泉合気道クラブ＝D.Clement、M.Kuperberg◆調布合気道会＝末松太一◆天心道場＝岩滝葵、梅垣仁志◆天白道場＝清水柚芳◆武産館＝川畑雅輝◆豊川合気会伊東道会＝今泉智久◆麻生同心会＝水澤みどり◆名古屋合気会＝越智洋、川島昌二◆明清会＝M.Neubert◆緑水会＝中間雄一郎◆堀越道場＝滝沢進◆高根カナルチャーセンター＝山崎政信◆広島国際合気道道場＝寺西泰崇◆美陵会＝堀信久、米村宗一郎、吉岡容◆流山合気会＝篠田孝、鈴木泰晃、鈴木啓介◆合気道須賀川道場＝五十嵐任志◆横浜南合気会日曜＝野友和◆長谷川道場＝保田由起夫、熊谷基◆央名会恵山道場＝阿部育代◆三ツ境カナルチャーセンター＝植波由美子◆瑞浪道場＝青木力◆合気道倫＝伊大知恵子◆つくば合気道会＝谷寛之、植田純二、宮内万記子、林宏和、洪由紀子、坂本一信◆足利市民合気道クラブ＝藤田勝良◆合気道平出道場＝篠原亘◆高崎経済大学＝勝島緑野、関口あゆみ、平岩あかり◆三重大学合気会＝西村溪◆京都大学体育会合気道部＝吉澤瑛◆早稲田大学＝三石響子、穴山博一◆中央大学＝星太貴、二宮遼太郎、中里亮太、笠谷佳範、小峰一将、細谷典史、三猪智之、岡崎風沙、永井美帆、廣田萌絵◆東海大学望星学塾＝秋山昇、木村憲◆日本大学工学部体育会合気道部＝浅田真結子、伊藤抑◆北海道大学＝小野瀬祥太、浅岡那月、大岩和暉、岸紗智子、岸本悠佑、篠原明、嶋村有季乃、関野一喜、谷内慎太郎◆名古屋商科大学＝岡野龍一◆新潟大学＝倉重乾◆電気通信大学＝佐藤

季久恵◆U.S.A.＝K.Mochel、J.Tagle、S.Geyer、S.Taylor、M.Puckett、P.Behnfeldt、R.Bartels、N.Stewart、P.Petrov、V.Trifonov、E.Bigelow、K.Thornton、T.Kia、R.Rivera、S.Hardyman、J.Dejesus、L.Vollner、J.Costanzo、D.Zlokazov、C.Rauh、R.Abreu、S.Pillaipakkam、R.Macpherson、K.Bauer、B.Edwards、E.Ostro、L.Browning、M.Lender、M.Spruell、D.Herak、J.Ali、J.Stueve、C.Torres、A.Gallagher、C.Bakker、J.Penrod、S.Reidbord、R.Tonkovich、M.Poulson◆ISRAEL＝U.Zuber、A.Grennstein、E.Nir◆CHILE＝J.Mananes◆ITALY＝A.Monari、A.Dallaglio、L.Traina、M.Rocca、C.Tagliavini、M.Tagliavini、C.Montessoro、S.Mongillo、J.Gufler、A.Falconetti、M.Poggelli、M.Salvalaggio、L.Bonfanti、F.Martini、N.Esposito、L.Salsi、M.Trippodo、B.Pennino、E.Fortunato、G.Riccardi、S.Salvatore、A.Csermely、D.Gallo、F.Narciso、V.Guerre、I.Barulli、M.Stefani、S.Verde、A.Baldoni、P.Primadei、C.Stopponi、O.Sandrini、G.Carlomagnano、D.Grazioli、G.Bozzo、G.Esposito、M.Peluso、G.Spagnuolo、N.Petriccione、M.Mirenda、R.Sanna、M.Piredda、M.Balistreri、F.Giammarini、S.Sabatini、A.Girardi、P.Silvi、E.Ciocca、F.Pietrosanti、G.Martorelli、A.Biello、G.Poma、A.Francesca、P.Pendenza、L.Pegoretti、R.Benigni、E.Bubani、V.Prina、P.Ciccioli、J.Caggiano、L.Olivieri、D.Cirillo、G.Oliviero、M.Boni、A.Bettinelli、V.Simonelli、L.Marini、R.Zamboni、C.Zavattaro、F.Ferrara、F.Dagnino、A.Iovanela◆SLOVAK＝F.Krejci、M.Hladik、O.Vrbsky、K.Susen◆ARGENTINA＝E.Barker、D.Gimenez、E.Meneses、F.Rosas、J.Suarez、J.Garfagnoli、M.Vitellozzi、E.Valle、M.Sambartolomeo、C.Pereyra、A.Liquin、B.Hidalgo、F.Sepulveda、J.Chaves、J.Gencheff◆POLAND＝M.Dudarski、W.Nowicki、O.Oleksy、P.Jorkowski、J.Kacpura、J.Pawlak◆U.K.＝D.Telford、A.Telford、S.Mcdonald◆BULGARIA＝I.Mihaylov、S.Eleftheriadis、M.Ivanova、J.Beau、A.Vlahonikolos、G.Leivadaras◆FRANCE＝T.Capperon、J.Vinci、K.Bechir、H.Cardot、M.Hung、S.Duong、F.Pinturier、N.Guillou、P.Lablonde、E.Julliard、D.Tkaczky、M.Romaniuk、S.Turpin、P.Sikora◆SPAIN＝J.Tornel、B.Tapia、J.Lopez、M.Olmo、A.Landaberea、J.Leonora、E.Hinojosa◆FINLAND＝S.Hanninen、J.Korkalainen◆SRILANKA＝K.Wickramaratne、S.Jagoda、S.Gamage、N.Kroon◆POLAND＝M.Lempkowski、J.Brodacki◆BRAZIL＝C.Sousa、H.Lafemina、上月純、E.Gaspar◆CANADA＝C.Ang、J.Aubin、M.Yukhanova、V.Katcherovski、石井千広、M.Gaudette、E.Dueck、C.Dumont◆SERBIA＝N.Jankovic、D.Erdevik、T.Varga、A.Jankovic、Z.Ramic◆SWEDEN＝R.Nilsson◆SWITZERLAND＝P.Cambrosio、F.Deslandes◆CHILE＝S.Hernandez、J.Jorratt◆GERMANY＝M.Schwientek◆U.A.E.＝A.Llenas◆LATVIA＝S.Streipa◆UKRAINE＝T.Homoky◆中国＝部鹏飞

【初段】

◆本部道場＝中川範彦◆長谷川道場＝綱島史典、成島誠◆西馬込合気道会＝後藤鈴奈◆合気道瀧田塾＝郡司晃宏◆山口合気会姫路大津道場＝三好結菜◆愛川合気道会＝梅澤くるみ◆長野至水会安曇野支部＝野本慧◆奥多摩合気道会＝久保初雄◆横浜国際合気道会＝神保夢香、鈴木祐亮◆沖縄合気会＝仲原靖、E.Auburg、城間仙子、平良陽功◆合気道神武錬成塾＝佐藤充気、木村結、久我由敦◆群馬合気会＝伊与久哲男◆戸田市スポーツセンター合気道教室＝辻達郎◆恒心道場＝永井和葉、峯野傑、平尾涼馬、須田青空◆甲府合気会＝成瀬薫◆合気道三浦小西潮◆志木合気会＝岩間聡子◆合気道鹿児島道場＝黒岩裕美、服部隼◆秋田あきた文化保険センター合気道教室＝及川誠太◆秋田能代合気会＝田村博文、児玉裕紀◆央名会春日井武道館＝加藤大悟◆小林道場＝松本剛知、峯村典政、床鍋義博、本田康人、稲葉優斗、安田夏望、今村恵基、森本善人、小泉智、菅野信、菊池康宏◆尚武館＝日高裕稀◆松戸市役所合気道部＝久富博之◆祥平塾＝樋口玲香、岡田越史、百溪千夏、二上綾加◆合気道神戸＝大森優希◆神明塾＝蛭沢柚月、田村唯花、増田月音、関口海、保高はるな◆杉並合気会＝栗原礼江◆清明塾＝相坂重行、有

賀正貴◆心和会＝藤枝萌美◆袖ヶ浦合気会＝山田裕二、佐藤安則◆大阪合気会＝南井陽羽◆大阪合気塾＝大江秀幸、川上厚実、河内洋樹◆大阪武育会＝三宅実咲◆合気道天正会＝後藤優芽◆大泉合気道クラブ＝P.Marinelli、陳恩進◆調布合気道会＝春真奈美◆天心道場＝中村誠、島田直大◆天白道場＝清水栄佑、水谷友香◆取手合気会＝小長谷謙二、佐藤あゆ美◆品川円明会＝和田仁美◆尾山台地域体育館＝桜田憲二◆富山合気会＝市原陽資◆武産館＝橋本侂磨、松本悠希◆豊川合気会伊東道場＝小原寛明、松本誠一◆防衛省合気道連合会＝吉田朝子◆合気道黒石塾＝中島雄大◆麻生同心会＝山口真輝、ピゴ・クリスチャン、村井伸二、田坂瞳子、小林征子◆名古屋合気会＝石原百合香◆藤浪塾＝甲斐虹作、小林邦広◆堀越道場＝菅本麻衣子、日留田佳史◆美陵会＝森本陽子、高落伸治◆多治見道場＝松嶋博◆孝子道場＝松岡淳、戴本琳、上床奏太郎◆越心館＝大野丈夫◆合気道高城道場＝原田一仁、二俣米子◆つくば合気道会＝杉山洋、樽川千城◆倉吉合気会＝池内巧◆新星合気会＝R.Michel◆合気道優道会＝北川純子◆合気道大都同友会＝小幡裕子◆合気道大倉山＝田村徳満◆合気道津市供教室＝前川咲葉◆船橋西部合気会＝橘高弘幸◆流山合気会＝青柳徳子、坂田義彦、高橋章◆合気道須賀川道場＝並木柊之祐、倉持奈央、大野敏輝、渡部信宇◆合気求和会前沢道場＝書上心輔、吉村和利◆土井道場＝石澤亮太、津田心太郎、齊藤有香◆相模女子大学合気道部＝齊木千紘、植野奏◆愛知学院大学＝中村恭豪◆岡山大学＝寺門尚子◆京都女子大学＝鳥居明日香◆京都大学体育会合気道部＝西川潤一郎、小村悠人、丸谷貴裕、上田駿◆山梨大学＝天道ゆり、酒井邑芽◆滋賀医科大学＝美好舞、樋口美帆子◆清泉女子大学＝河野美由人、秋山理香◆早稲田大学＝有本昂史、木村智哉、田頭佑基、渡邊博◆東京理科大学神楽坂＝石鍋沙季◆同志社大学＝石井涼太郎、河合瑞紀、松嶋沙莉、前原真帆、溝渕比奈子、寺本龍生、野田昌宏◆和歌山県立医科大学＝要田知新、栗瑞穂、白崎史夏、谷内珠実、和佐春奈、楠真和、林晶斗、野内隆志、松井啓悟、松岡佑弥、加藤武則◆東北学院大学工学部＝菅原瑛◆GEORGIA＝A.Tskhvitava、V.Japaridze◆U.S.A.＝M.Manera、稲葉光俊、J.Wilhelm、D.Parr、H.Sheikhi、D.Duong、柿崎靖、S.Gastikli、M.Desocio、A.Cloutier、T.Nesson、P.Rabenhorst、K.Rodriquez、O.Silva、R.Platt、R.Klehm、I.Yudina、E.Gilchenok、V.Nesterova、V.Komarova、ティム幕田、G.Valencia、T.Hill、D.Borghi、S.Balan、R.Megosinarso、M.Kelly、O.Perez、K.Kite、P.Wang、C.Laney、J.Vokoun、G.Cirulis、S.Lark、S.Sanchez、R.Post、P.Borman、N.Sinclair、A.Aksenov、B.Smith、Y.Choo、H.Daaboul、D.Ingram、J.Bengtson、G.Rech、I.Schwartz、E.Anderson、M.Pradhan、S.Bickers、M.Lambert、W.Crupi、T.Lynch、A.Demic、M.Trejo、S.Evans、A.Sprick、P.Marcet、J.Marston、P.Tenaglia、J.Khavich、A.Rodriguez、S.Dutton、J.Ledoux、R.Yates◆ISRAEL＝J.Schmidt、R.Manunta、M.Nuscis、A.Shimoni、J.Laster◆CHILE＝J.Esparza、M.Cespedes、G.Aviles、M.Soto◆ITALY＝L.Bressan、M.Romagnoni、G.Beltrone、D.Fassio、A.Ros、M.Clarizia、F.Gangi、R.Favalli、E.Longo、R.Zelger、S.Satta、K.Leitner、F.Dall’Armellina、M.Mele、M.Bazzini、M.Maligno、D.Marzocchi、A.Parrini、A.Saleri、E.Bressan、Y.Kawaguchi、A.Eldib、F.Barbieri、S.Alfano、I.Uras、M.Ferretti、P.Persico、F.Giordano、V.Campana、S.Borowik、F.Scorretti、G.Properzi、E.Benaglia、A.Martina、F.Meroni、G.Montalti、R.Porazza、C.Viale、I.Bofu、M.Reali、A.Damascelli、P.Lanza、M.Marino、M.Crivello、C.Scina、L.Urso、W.Alvarado、A.Zampieri、A.Orrico、S.Giacopuzzi、C.Marconi、R.Giovannini、A.Cervino、A.Russo、W.Utano、G.Borghetti、G.Durante、G.Izzo、S.Lorenzo、S.Flagiello、A.Ferrara、G.Liberti、M.Mollo、R.Gasparello、M.Araldo、S.Carboni、F.Angioni、J.Cukanovic、G.Flamment、M.Pellegrino、D.Picocchi、E.Macellari、L.Vogl、P.Casalatina、B.Mastellari、F.Stasi、E.Marcelletti、A.Casolaro、A.Montanaro、G.Bruzzo、P.Fernandez、F.Alberti、A.Angeloni、